

2020年10月12日

報道関係各位
プレスリリース

オリザ油化株式会社

ハラール認証120品目に拡充へ

オリザ油化株式会社(愛知県一宮市)は、イスラム市場への対応力強化の為、予ねてより機能性食品や化粧品素材のハラール認証取得に努めてきたが、今秋、14品目を追加し、120品目ものハラール認証製品を整えたと発表した。

今回の追加認証された主な品目は、顧客から特に要望が多かった「トマト種子エキス」「シソの実エキス」「赤ショウガエキス」「紫茶エキス」「オリザセラミド®」「オリザギャバ®エキス」で、顧客ニーズに柔軟に対応できる体制を整えた。世界の人口の約4分の1がイスラム教徒であり、健康・美容意識の高まりから、マレーシア・インドネシアを中心として、同社の健康食品素材及び化粧品素材に対して、ハラール認証の取得を希望する顧客が年々増加しており、今後も顧客ニーズに応じて認証品目を増やしていく意向がある。

「トマト種子エキス」は2018年10月に上市をした製品で、皮膚の粘弾性に寄与する細胞外マトリックスを構成するコラーゲンやエラスチンの産生・分解物の取り込みサイクルを正常に保つ作用をもつことが知られている。さらには、今年新データとして、アレルギー性皮膚炎の改善効果を見出し、特許出願も行っており、肌の弾力ケアだけでなく、アレルギー性の皮膚炎症状(ドライスキンなど)の改善効果も確認されていることから、肌のトータルケアの美容素材として期待できる製品である。

「シソの実エキス」は抗アレルギーと、口腔関連である抗う蝕・抗歯周病を訴求する計4品目を追加した。特に抗う蝕・抗歯周病を訴求した「シソの実エキス-LOGC」は、う蝕原性細菌や、歯周病原性細菌に対する高い抗菌活性を有しているため、昨今では日本国内のみならず、東南アジア・北米から問い合わせの多い素材であり、大手メーカーの歯磨き粉や口腔洗浄剤への配合実績がある。また、抗アレルギー素材である食品用途の「シソの実エキス-WSP」、化粧品用途の「シソの実エキス-WSPC」及び「シソの実エキス-LC」はアレルギーの発症機構である、5-リポキシゲナーゼ阻害やヒスタミン遊離抑制作用を有することが同社研究で知られており、花粉・ハウスダスト等による目・鼻の不快感を訴求する製品や皮膚・頭皮の痒みを低減させる洗浄剤への応用事例がある。

「オリザセラミド®」は食品用途の「オリザセラミド®-L0.8」と化粧品用途の「オリザセラミド®-LC0.8」の2品目を認証取得した。いずれの製品も乳化タイプであり、液体への配合に適している。粉末製品である「オリザセラミド®-PCD,-PC,-WSP,-WSPC」の4品目は既に認証取得済みであるが、乳化タイプ製品を拡充した。米由来セラミドのパイオニアである同社は、機能性表示食品向けの素材として既に、SRを完了させており、届出受理実績もあるため、機能性表示食品を目指す企業へ積極的に提案をしていくとともに、同原料の海外輸出実績経験を豊富に持つことから、海外への販売を検討している企業への提案も同時に行っていく。

「オリザギャバ®」は既に「オリザギャバ®ジャーム-P」「オリザギャバ®エキス-C,-HC5,-HC90」の4品目が認証取得済みであるが、今回新たに、米由来の「オリザギャバ®エキス-F95R」を追加した。当該製品は従来の製法と異な

り、発酵法で富化をすることにより、GABA(γアミノ酪酸)含量が95%以上でありながら、同社従来の製品よりも大幅にコストダウンをすることに成功し、よりお客様が検討しやすい製品へと改良した。また、同社は機能性表示食品向けの届出サポートを行っており、既に「精神的ストレス軽減」「高めの血圧低下」「疲労感の軽減」「睡眠の質改善」「肌の弾力維持」「記憶力の向上」のSR作業を完了し、6つのヘルスクレームを可能としている。同製品は水溶性が高いため、打錠・カプセルだけでなく、飲料への配合も適している。

同社は今後も国内外の食品、化粧品メーカー等の最終製品を製造する企業やサービス業へのハラル品の供給を積極的に進め、ムスリムが安心して使用出来るハラル品の市場への供給へ貢献していく。